

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
21132	雨水管渠等整備事業	公営企業局	下水道整備課	2
51321	下水道計画事業	公営企業局	下水道整備課	3
51321	中央処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	4
51321	西部処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	5
51321	北部処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	6
51321	北条処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	7
51321	浅海地区特定環境保全公共下水道整備事業	公営企業局	下水道整備課	8
51321	上野処理区管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	9
51321	宅内樹設置資金貸付事業	公営企業局	下水道整備課	10
51321	私道管渠整備事業	公営企業局	下水道整備課	11
51321	公共樹設置事業	公営企業局	下水道整備課	12

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	浸水対策担当	連絡先	948-6957	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	伊与田 亮	担当	奥野 翔太	仲岡 光生

1.事業概要【Plan】

事業名	雨水管渠等整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
21132								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	災害等に強いまちをつくる		○	-	○	-		
施策	防災対策等の推進							
主な取組	浸水対策・かけ崩れ対策の推進	根拠法令	下水道法、都市計画法、第4次松山市下水道整備基本構想					
取組みの柱	浸水対策及び耐水化の推進							
目的・背景	公共下水道処理区内の排水路は、宅地化に伴い遊休池が激減したうえに在来水路が不良のため、降雨時に浸水が生じ生活環境が悪化していることから、雨水管渠の整備により、浸水被害の軽減を図り、市民の安全・安心を確保する。							
対象・内容	基本構想で定める10地区の整備に取り組み、現在3地区が完成し、残る7地区の浸水被害区域に対し、浸水被害を軽減するため、雨水管渠の整備を実施する。							

2.事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費		
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	工事請負費		623,293		
予算(千円)	事業費計	2,072,288	1,697,693	2,324,263			主な取組内容【R5】	委託料		92,600	
	国費・県費	796,690	547,536	557,392				7地区の雨水管渠整備 ・和泉・古川地区:雨水幹線工事 ・空港通地区:雨水幹線工事 ・北条地区:雨水幹線工事 ・山西地区:雨水幹線工事 ・東山地区:実施設計業務委託 ・南江戸地区:雨水管工事 ・北条辻地区:調整池建設工事	補償費		28,186
	市債	1,059,000	890,100	937,000							
	その他	7,566	3,260	5,200							
	一般財源	209,032	256,797	824,671							
決算(千円)	事業費計	1,365,571	744,079								
	国費・県費	573,402	220,097								
	市債	688,200	393,000								
	その他	399	38,629								
	一般財源	103,570	92,353								
	(執行率)	66%	44%								
人役	正規職員	4.0	4.0	4.3		特記事項	916,763千円をR5年度からR6年度へ繰り越し				
	その他										
	合計	4.0	4.0	4.3							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備済地区数	目標	9	10	10	10	浸水対策の事業完了地区数を目標値とする。各地区並行して整備を進めているため、最終年度近くにならないと整備済地区数の増加・達成とならない。		
		実績	3	3					
	累計で増	地区	達成率	33.3%	30.0%				
成果指標	浸水解消件数	目標	214	236	236	236	整備地区内での浸水解消件数を目標値とする。各地区並行して整備を進めているため、最終年度近くにならないと浸水解消件数の増加・達成とならない。		
		実績	30	30					
	累計で増	件	達成率	14.0%	12.7%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	整備未完了の7地区を並行して整備を進めていることから、最終年度にならないと整備済地区数の達成とはならないが、それぞれの地区での整備は予定通りに進んでいるため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	管理計画担当	連絡先	948-6819	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	梁田 将光	担当	森田 直幸	村上 真

1.事業概要【Plan】

事業名	下水道計画事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51321		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		-	-	-	-	
政策	快適な生活基盤をつくる						
施策	下水道等の整備	根拠法令	下水道法第4条				
主な取組	下水道の普及促進						
取組みの柱	下水道管渠整備の推進						
目的・背景	昭和33年の下水道法改正により、松山公共下水道事業計画認可を受け、下水道事業に着手し、昭和37年に供用を開始した。下水道の整備を行うことにより、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に資することを目的とする。						
対象・内容	松山市域のうち、公共下水道を整備する全体計画区域として、6,943.4haを対象としている。(処理人口427,526人)効率的かつ計画的な公共下水道事業を行うための企画計画検討業務を行う。						

2.事業実施【Do】

事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度	項	目	総係費 営業設備費
予算 (千円)	事業費計	44,996	10,761	35,500	主な経費 (千円) 【R5 決算】	委託料	8,193
	国費・県費	14,248	5,379	17,794			
	市債						
	その他						
	一般財源	30,748	5,382	17,706			
決算 (千円)	事業費計	20,663	9,393		主な取組 内容 【R5】	松山公共下水道事業計画の変更	
	国費・県費	6,339	4,006				
	市債						
	その他						
	一般財源	14,324	5,387				
	(執行率)	46%	87%				
人役	正規職員	0.2	0.4	1.3	特記 事項	入札減少金の発生や、発注段階での業務内容精査により経費縮減に努めた。	
	その他		1.0	0.1			
	合計	0.2	1.4	1.4			

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	松山公共下水道 事業計画の変更	目標		-	1	-	1	予定通り実施することができ、目標が達成できた。
		実績		-	1			
	現状維持	件	達成率	-	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定通り松山公共下水道事業計画の変更が実施できたため。						
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	松山市公共下水道事業を実施するための計画であるため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	中央処理区担当	連絡先	948-6541	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	高田 智也	担当	山崎 洋一	隅田 勇太郎

1.事業概要【Plan】

事業名	中央処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	中央浄化センターに流入する区域(3,464.2ha)のうち事業計画区域内(3,219.6ha)の249,100人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。							

2.事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	工事請負費		307,218
予算(千円)	事業費計	1,156,776	905,550	858,294					
	国費・県費	247,044	252,959	182,148					
	市債	757,100	492,100	496,700					
	その他	26,956	6,630	10,701					
	一般財源	125,676	153,861	168,745					
決算(千円)	事業費計	560,842	372,021			主な取組内容【R5】	石井・久米・桑原地区の管渠整備 ・石井1号汚水管工事 ・久米2号汚水管工事 ・桑原2号汚水管工事		
	国費・県費	113,155	76,096						
	市債	340,900	208,700						
	その他	83,711	44,517						
	一般財源	23,076	42,708						
	(執行率)	48%	41%						
人役	正規職員	3.7	3.7	2.3		特記事項	538,294千円をR5年度からR6年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	3.7	3.7	2.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積(市内5処理区)	目標	5,243	5,269	5,304	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。		
		実績	5,322	5,360					
	累計で増	ha	達成率	101.5%	101.7%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	目標	65.6	66.3	67.2	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。		
		実績	65.8	66.4					
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.2%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	木村 将伸	担当	藤野 秀彦	森 正恵

1.事業概要【Plan】

事業名	西部処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	西部浄化センターに流入する区域(2,354.0ha)のうち事業計画区域内(2,134.4ha)の124,720人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。							

2.事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	工事請負費		1,191,541	
予算(千円)	事業費計	2,378,959	2,622,565	2,258,559			主な取組内容【R5】	委託料		110,304
	国費・県費	586,610	590,513	484,188				補償費		12,781
	市債	1,462,800	1,510,000	1,319,900				宮前・久枝・山越地区の管渠整備 ・中須賀1号汚水管工事 ・久枝2号汚水管工事 ・山越1号汚水管工事		
	その他	7,150	19,940	13,975						
一般財源	322,399	502,112	440,496							
決算(千円)	事業費計	969,828	1,315,011			特記事項	1,082,789千円をR5年度からR6年度へ繰り越し			
	国費・県費	297,236	381,345							
	市債	555,500	680,300							
	その他	33,277	17,128							
	一般財源	83,815	236,238							
(執行率)	41%	50%								
人役	正規職員	6.4	6.2	5.7						
	その他									
	合計	6.4	6.2	5.7						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	整備面積(市内5処理区)	目標	5,243	5,269	5,304	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。	
		実績	5,322	5,360				
	累計で増	ha	達成率	101.5%	101.7%			
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	目標	65.6	66.3	67.2	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。	
		実績	65.8	66.4				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.2%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543		
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	木村 将伸	担当	藤野 秀彦	森 正恵	

1.事業概要【Plan】

事業名	北部処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
51321									
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-		
施策	下水道等の整備								
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想					
取組みの柱	下水道管渠整備の推進								
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。								
対象・内容	北部浄化センターに流入する区域(531.9ha)のうち事業計画区域内(399.1ha)の16,480人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。								

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	工事請負費		81,072
予算(千円)	事業費計	517,793	246,523	232,836					
	国費・県費	99,864	42,734	21,938					
	市債	351,900	150,700	150,700					
	その他			975					
	一般財源	66,029	53,089	59,223					
決算(千円)	事業費計	298,239	84,336			主な取組内容【R5】	堀江・内宮地区の管渠整備 ・堀江2号污水管工事 ・内宮污水管工事		
	国費・県費	62,728	28,592						
	市債	202,800	44,400						
	その他	10,172	717						
	一般財源	22,539	10,627						
	(執行率)	58%	34%						
人役	正規職員	1.4	0.6	0.6		特記事項	64,041千円をR5年度からR6年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	1.4	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	整備面積(市内5処理区)	目標	5,243	5,269	5,304	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。		
		実績	5,322	5,360					
	累計で増	ha	達成率	101.5%	101.7%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	目標	65.6	66.3	67.2	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。		
		実績	65.8	66.4					
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.2%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	木村 将伸	担当	藤野 秀彦	森 正恵

1.事業概要【Plan】

事業名	北条処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	北条浄化センターに流入する区域(541.6ha)のうち事業計画区域内(541.6ha)の17,730人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的に公共下水道の整備を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	9,841	10,685	10,070		主な経費(千円)【R5決算】	委託料		4,187
	国費・県費	1,100	1,080	1,080					
	市債	7,400	7,000	6,500					
	その他								
	一般財源	1,341	2,605	2,490					
決算 (千円)	事業費計	213	4,187			主な取組内容【R5】	難波地区の管渠整備実施設計業務委託		
	国費・県費								
	市債	100	2,900						
	その他	113							
	一般財源		1,287						
	(執行率)	2%	39%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項	5,035千円をR5年度からR6年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	整備面積(市内5処理区)	目標	5,243	5,269	5,304	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。	
		実績	5,322	5,360				
	累計で増	ha	達成率	101.5%	101.7%			
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	目標	65.6	66.3	67.2	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。	
		実績	65.8	66.4				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.2%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8年度まで)に基づき計画的に事業を実施しているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	西部・北部・北条処理区担当	連絡先	948-6543	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	木村 将伸	担当	藤野 秀彦	森 正恵

1.事業概要【Plan】

事業名	51321 浅海地区特定環境保全公共下水道整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる		○	-	-	-		
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進	根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想					
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	清潔で快適、そして安全・安心なまちづくりを推進するため、計画的に公共下水道の整備を進め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	浅海地区の事業計画区域内(46.6ha)の910人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。							

2.事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	400	400	400		主な経費 (千円) 【R5 決算】	-		0
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400	400					
決算 (千円)	事業費計	0	0			主な取組 内容 【R5】	地元調整及び現地調査		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
	(執行率)	0%	0%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	新築による本管の延伸など突発的な対応 案件なし		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	整備面積 (市内5処理区)	目標	5,243	5,269	5,304	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に 基づき計画的に整備できた。	
		実績	5,322	5,360				
	累計で増	ha	達成率	101.5%	101.7%			
成果 指標	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)	目標	65.6	66.3	67.2	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備 した結果、目標普及率を達成するこ ができた。	
		実績	65.8	66.4				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.2%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。						
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	第4次松山市下水道整備基本構想(令和8 年度まで)に基づき計画的に事業を実施 しているため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	中央処理区担当	連絡先	948-6541	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	高田 智也	担当	山崎 洋一	隅田 勇太郎

1.事業概要【Plan】

事業名	上野処理区管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	下水道法、下水道法施行令、松山市下水道条例、第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	松山市と砥部町の行政区域にまたがって建設された上野団地は、砥部町側は砥部町公共下水道に接続されていたものの、松山市側は集中浄化槽での汚水処理を行っており、地元住民から砥部町公共下水道への接続要望があった。そこで、関係機関との協議・検討を進め、平成30年度から新たに松山市公共下水道として位置付け、松山市側についても砥部町公共下水道に接続することとし、汚水処理を砥部町に委託する「事務の委託」により、行政区域を越えて汚水処理を行うことで、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図る。							
対象・内容	上野処理区の事業計画区域内(5.1ha)の338人を対象に、第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、計画的な公共下水道の整備を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	12,806	6,685	0		主な経費 (千円) 【R5 決算】	工事請負費		4,441
	国費・県費								
	市債	8,800	3,900						
	その他								
	一般財源	4,006	2,785	0					
決算 (千円)	事業費計	3,436	4,441			主な取組 内容 【R5】	上野町汚水柵工事		
	国費・県費								
	市債	2,000	2,600						
	その他								
	一般財源	1,436	1,841						
	(執行率)	27%	66%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.0		特記 事項			
	その他								
	合計	0.3	0.3	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	整備面積 (市内5処理区)	目標	5,243	5,269	5,304	5,372	第4次松山市下水道整備基本構想に基づき計画的に整備できた。		
		実績	5,322	5,360					
	累計で増	ha	達成率	101.5%	101.7%				
成果 指標	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)	目標	65.6	66.3	67.2	69.0	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。		
		実績	65.8	66.4					
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.2%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の 方向性	終期到来による廃止	左記の 理由	松山市の基準に合った宅内柵の布設替を計画的に行っており、計画どおり令和4年度予算(R4→5繰越)で事業完了のため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	二神 大造	担当	小松 幹直	

1.事業概要【Plan】

事業名	51321 宅内樹設置資金貸付事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	6:出資金・貸付金	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		-	-	-	-	
施策	下水道等の整備		-				
主な取組	下水道の普及促進	根拠法令	松山市公営企業局宅内ます設置資金貸付規程				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進						
目的・背景	公共下水道の入口となる、宅内樹を自己負担で設置する際に、工事による経済的負担を考え、資金の貸付を行う援助制度(無利息)により、水洗化の促進を図る。 公共下水道と宅内樹の排水管を接続するための公共樹を、公共下水道の本管工事期間中に敷地内に設置しなかった者が、工事完了後に設置を希望する場合は、平成28年4月から原則自己負担となったため、援助制度として開始した。						
対象・内容	貸付対象者:公共下水道処理区域で、公共下水道に切替接続するための宅内樹を、自己負担で設置する者で、市県民税、固定資産税及び受益者負担金を滞納していないこと。宅内樹を設置する土地の所有者で、設置した宅内樹を公共樹として寄付すること。 貸付金額:土地1か所につき60万円以内。 申請方法:貸付金の申請届を市に提出し、改造工事完了後、設置工事完了届を市に提出、その後完了検査を受けて、貸付金を支払う。						

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	長期貸付金	目	宅内樹設置資金貸付金
		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	3,000	1,200	1,200		主な経費 (千円) 【R5 決算】	-		0
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,000	1,200	1,200					
決算 (千円)	事業費計	0	0			主な取組 内容 【R5】	宅内樹を、自己負担で設置しようとする者に、設置資金(無利息)の貸付を行う。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
	(執行率)	0%	0%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	R5の申請はなかったため。		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	申請件数	目標	5	2	2	2	2件の想定で予算措置をしたが、申請がなかった。		
		実績	0	0					
	現状維持	件	達成率	0%	0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	その他							
	理由	2件の想定で予算措置をしたが、申請がなかった。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	水洗化の促進を図るため、引き続き事業を実施する。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	二神 大造	担当	小松 幹直	

1.事業概要【Plan】

事業名	私道管渠整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる			○	-	-	-	
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進		根拠法令	私道における公共下水道敷設要綱				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	住民の費用負担が大きい、私道への下水道管敷設を市が施工、又は費用の助成をすることにより、公共下水道への切り替えを促進し、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全に資する。 建設省通達の水洗便所普及促進要領4(6)(昭47.9.28)で要件を満たす私道は、後日の紛争の予防措置を講じた上で、公共下水道として管渠を整備し、又は私道排水設備設置の助成を行うよう努めるものとされた。							
対象・内容	公共下水道が、整備されている公道に通じる私道を対象に、一定の要件を満たす場合、沿線にお住まいの方等の申請に基づき、公共下水道を整備する。							

2.事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	工事請負費		143,648	
予算(千円)	事業費計	355,820	478,879	593,640			主な取組内容【R5】	工事の実施設計等の委託料		15,273
	国費・県費	13,425	14,408	13,631				補償費		8,434
	市債	257,800	323,300	398,000				申請に基づき、予算の範囲内で、公共下水道を整備する。		
	その他	7,380	6,080	4,160						
	一般財源	77,215	135,091	177,849						
決算(千円)	事業費計	144,735	167,579			特記事項				
	国費・県費	9,926	13,617							
	市債	115,100	110,300							
	その他	7,199	6,511							
	一般財源	12,510	37,151							
	(執行率)	41%	35%							
人役	正規職員	1.5	2.2	1.8		294,640千円をR5年度からR6年度へ繰り越し				
	その他			0.2						
	合計	1.5	2.2	2.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事件数	目標	13	13	13	13	予定通り工事を実施することができた。		
		実績	13	13					
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	目標	65.6	66.3	67.2	69.0	事業を実施することで、目標普及率を達成することができた。		
		実績	65.8	66.4					
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.2%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定通り工事を実施することができ、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	事業を実施することで、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道整備課	担当G	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
部長等名	藤岡 徹	課等長名	日野坪 信彦	リーダー	二神 大造	担当	小松 幹直	

1.事業概要【Plan】

事業名	公共樹設置事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)		
51321								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	快適な生活基盤をつくる		○	-	-	-		
施策	下水道等の整備							
主な取組	下水道の普及促進	根拠法令	松山市下水道条例 水洗便所普及促進要綱4(6)(昭和47.9.28)					
取組みの柱	下水道管渠整備の推進							
目的・背景	住民の費用負担が大きい下水道本管への接続を、市が施工、維持管理することにより、公共下水道への切り替えを促進し、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全に資する。 分流方式で排除できる公共下水道の整備の進捗に伴い、公共樹の設置に取り組んでいる。							
対象・内容	分流方式で排除できる公共下水道が整備されている道路に面し、公共樹が設置されていない宅地を対象に、申請に基づき公共樹を設置する。							

2.事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	460,244	457,585	463,141		主な経費(千円)【R5決算】	工事請負費		272,540
	国費・県費	10,000	10,000	10,000			工事の実施設計等の委託料		44,816
	市債	350,900	314,600	312,700			補償費		539
	その他	1,040	1,040	1,040					
	一般財源	98,304	131,945	139,401					
決算 (千円)	事業費計	281,951	318,313			主な取組内容【R5】	申請に基づき、予算の範囲内で公共樹を設置する。		
	国費・県費	257	661						
	市債	214,000	213,700						
	その他	43,407	36,594						
	一般財源	24,287	67,358						
	(執行率)	61%	70%						
人役	正規職員	5.4	5.7	2.9		特記事項	109,141千円をR5年度からR6年度へ繰り越し		
	その他	0.4	1.0	1.7					
	合計	5.8	6.7	4.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事件数	目標	220	220	220	220	予定通り工事を実施することができた。		
		実績	216	254					
	現状維持	件	達成率	98.2%	115.5%				
成果指標	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	目標	65.6	66.3	67.2	69.0	事業を実施することで、目標普及率を達成することができた。		
		実績	65.8	66.4					
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.2%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定通り工事を実施することができ、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	事業を実施することで、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られているため。		